

市町村名	豊見城						
令和５年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	オリオンECO美らSUNビーチ観光整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－3－（2）－ア	
担当部署名	経済建設部 公園緑地課	事業実施（予定）年度	令和4～令和5年度		沖縄振興基本方針該当箇所	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進 Ⅲ－1－（1）	
事業内容	豊崎海浜公園の来園者数の増加に向けた遊泳エリア等の環境改善・施設整備を行い、観光振興及び地域活性化を図る。						
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（令和6年度）						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			R4年度	R5年度	R5年度（繰越）	R6年度	R7年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,167	172,414			
		(b) 予算現額	1,661	156,517			
		(c) 増減額（b-a）	▲ 506	▲ 15,897	0		
		(d) 繰越額	0	0	86,969		
		A. 計（b+d）	1,661	156,517	86,969		
	B. 執行済額		1,661	69,548	58,730		
	うち交付金充当額		1,328	55,638	46,992		
	次年度繰越額		0	86,969	0		
	執行率（％）（B/A）		100.0％	44.4％	67.5％	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		入札残が生じたことから、工事請負費15,710千円、備品購入費187千円を減額した。 また、海上磁気探査にて異常点が確認されたため、確認に不測の日数を要したため、工事費にかかる86,969千円を繰越したが、浚渫工事において、海中工事のため、事前の正確な数量把握（浚渫・岩掘削）が困難であったことから、工事完了時数量が当初予定していた数量より下回ったため、28,239千円の不用額が生じた。					
活動目標（指標）及び達成状況	R5活動目標（指標）		達成状況				
				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	航路浚渫、施設備品整備の実施	目 標	整備実施				
		実 績	整備実施				
		目 標					
		実 績					
達成状況説明	令和5年度に海上磁気探査業務・施設整備品配置を完了し、R6年4月に浚渫工事が完了した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R5年度	R6年度	R7年度	目標値（年度）
	航路浚渫、施設備品整備の完了	目 標	（ ）	（ 完了 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		完了			
	【R6成果目標】 ビーチ利用者人数：20,000人	目 標	（ ）	（ ）	（ 20,000人 ）	（ ）	（ ）
		実 績			52,757人		
	進捗状況説明	施設整備品（コインロッカー）、令和5年度で整備が完了し、浚渫航路に関しては令和6年5月から使用可能となっている。 【ビーチ利用者人数】 ビーチ利用者人数については、令和6年度の使用者52,757人となり、約260％の達成率となった。しかしR6年度は、台風の影響による施設閉鎖が例年より少ないため利用者増に有利に働いたと考えるので、今後も恒常的な利用者増の目標とし状況を注視していきたい。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	- 施設の完成により季節・時間とかわらず、マリンメニューが実施できることから、今後この施設の活用に向けた取り組みが必要。 - 沖縄県を訪れる観光客数が好調なことも背景にあり、施設整備をすることによって豊崎海浜公園の来園者数の増加に繋がったと考える。	ビーチ指定管理者や周辺事業者の協力を得て、魅力ある環境作り（マリンメニュー等）の推進
今後の取り組み方針		
季節・時間とかわらず、干潮時でも海を楽しめるように周辺事業者と連携したマリンメニュー（パラセーリング、シュノーケル等）の検討・推進していく。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>128,288</td><td>128,288</td><td>102,630</td><td>25,658</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	128,288	128,288	102,630	25,658	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
128,288	128,288	102,630	25,658	0										
豊見城市 128,288千円 工事請負費 116,718千円 (株)東江建設・琉球開発JV 116,718千円 豊崎美らSUNビーチ航路浚渫工事(R5) 委託費 4,750千円 (株)翔土木設計 4,750千円 豊崎美らSUNビーチ航路浚渫磁気探査委託業務(R5) 備品購入費 6,820千円 大高商事(株) 6,820千円 豊崎海浜公園コインロッカー等購入業務(R5)														
資金の流 れ・費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は、本市指名委員会で選定した業者を指名競争入札により実施しており、妥当であったと考える。 ○予算は、磁気探査標準積算基準(海上探査)、工事標準積算基準書、事業者見積りなどより算定していることから、予算規模は事業内容と見合っていると考える。 ○費目、使途については、事業目的の観点から額の確定時において支出等に関する書類により確認、適性であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	豊見城市						
令和5年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	文化観光創出事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-(ウ)		
担当部署名	経済建設部 公園緑地課	事業実施 (予定)年度	平成24～令和7年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
	Ⅲ-1-(1)						
事業内容	豊見城址及びその周辺を観光資源として活用するため、必要な施設等の設計や整備等を実施する。						
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(令和7年度)						
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R5年度	R5年度(繰越)	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	1,187,360			93,247	
		(b)予算現額	1,187,360			93,247	
		(c)増減額(b-a)	0	0		0	0
		(d)繰越額	0	1,130,092		0	51,614
		A.計(b+d)	1,187,360	1,130,092		93,247	51,614
		B.執行済額	57,268	1,128,801		41,633	51,169
		うち交付金充当額	45,814	903,041		33,306	40,935
		次年度繰越額	1,130,092	0		51,614	0
		執行率(%) (B/A)	4.8%	99.9%	#DIV/0!	44.6%	99.1%
	予算の状況の説明	整備計画について調整と協議に不測の日数を要したため、遊歩道整備工事費に係る51,614千円を繰越した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	・野戦病院壕基礎調査業務、グスクゾーン周辺 実施設計業務、地積測量図作成業務、磁気探 査業務の実施	目 標	実施	実施		実施	
		実 績	実施	実施		実施	
	・遊歩道整備工事の実施	目 標				実施	
		実 績				実施	
達成 状 況 説 明	令和5年度に野戦病院壕基礎調査、グスクゾーン周辺実施設計、磁気探索等の委託業務を完了し、令和6年5月に遊歩道整備工事を完了させた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	・野戦病院壕基礎調査業務、グスクゾーン周辺 実施設計業務、地積測量図作成業務、磁気探 査業務の完了	目 標	()	(用地購入 整備完了)	()	(完了)	()
		実 績		完了		完了	
	・遊歩道整備工事の完了	目 標	()	()	()	(完了)	()
		実 績				完了	
	進 捗 状 況 説 明	・令和4年度において全体取得面積100%取得済みである。 ・引き続き関係機関との調整を踏まえ、未整備区間の園路や周辺環境の整備予定。 ・当初設定していたR4成果目標(中間目標)については、周辺環境整備の遅れを踏まえてR8へ変更することとした。目標値設定の考え方としては、県内グスクの年間利用者を参考に施設条件などを考慮した結果、供用開始5年間に於いて、本事業により整備した施設の利用者10万人(単年あたり2万人)を目標値としている。今後は、利活用の促進に向けて沖縄県事業施設(沖縄空手会館及びおきなわ工芸の杜等)との連携を図っていく。					

	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
取組の検証	（周辺整備） ・事業実施が令和3年度までの計画としていたが、用地購入（物件補償含む）に時間を要したことから令和7年度に遅れることとなった。今後は供用開始に向けた周辺整備を、早期に取組む必要がある。 （年間来場者数） ・沖縄県の施設である沖縄空手会館（平成28年度供用開始）とおきなわ工芸の杜（令和4年度供用開始）と連携を図って、目標値達成のため、誘客についての取組が必要となる。	（周辺整備） ・用地購入が完了したことから、関係機関と調整を図って、早期供用開始に向け周辺整備に取り組む。 （年間来場者数） ・沖縄県主体とした「豊見城城址跡地活用ワーキンググループ」により、イベント開催や情報共有等連携を図って、来場者数の増に繋げる。
今後の取り組み方針		
	（周辺整備） 令和7年度から一部開放のための園路整備及び転落防止柵整備工事（安全対策）を実施し、散策路利活用に向けて取組を行う。 （年間来場者数） 当事業と一体的な沖縄県事業（沖縄空手会館及びおきなわ工芸の杜）と連携を図り、文化・歴史・体験等が学べる観光周遊ツアーを企画するなど新たな交流拠点の形成・観光誘致に取り組み、県内外に愛される豊見城グスク整備を実施していく。	

資金の流れ														
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>92,802</td><td>92,802</td><td>74,241</td><td>18,561</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	92,802	92,802	74,241	18,561	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
92,802	92,802	74,241	18,561	0										
<pre> graph LR A[豊見城市 92,802千円] --> B[委託費 9,645千円] A --> C[工事請負費 83,157千円] B --> D[日本工営(株)沖縄支店 5,960千円] B --> E["(株)東陽エンジニアリング 2,750千円"] B --> F["(有)沖縄基礎開発 935千円"] C --> G["(株)東信興建 83,157千円"] D --- H["（豊見城城址跡地野戦病院壕基礎調査業務委託）"] E --- I["（豊見城城址跡地グスクゲーン周辺実施設計業務委託）"] F --- J["（豊見城城址跡地磁気探査業務委託(R5)）"] G --- K["（豊見城城址跡地遊歩道整備工事(R5-1工区)）"] </pre>														
資金の流	評価	点検項目	評価に関する説明											
使途の流れ、費用・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は、本市指名委員会で選定した業者を指名競争入札により実施しており、妥当であったと考える。 ○予算は、設計業務等積算基準書、工事標準積算基準書などより算定していることから、予算規模は事業内容と見合っていると考える。 ○費用、使途については、事業目的の観点から額の確定時において支出等に関する書類により確認、適性であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	豊見城市							
令和5年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑥	第2次豊見城市観光振興計画策定事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ			
担当部課名	企画部 商工観光課		事業実施（予定）年度	令和5年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	第1次観光振興計画で実施した各施策の取組成果を検証し、社会情勢や環境の変化を踏まえた第2次観光振興計画を策定する。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度 ※計画期間：令和6年～12年度							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			R5年度	R5年度（繰越）	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	14,927					
		(b) 予算現額	11,825					
		(c) 増減額（b-a）	▲ 3,102	0				
		(d) 繰越額	0	11,825				
		A. 計（b+d）	11,825	11,825				
	B. 執行済額		0	11,824				
	うち交付金充当額		0	9,459				
	次年度繰越額		11,825	0				
	執行率（％）（B/A）		0.0％	100.0％	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		・計上していたデータ集計費用について、当該費用を圧縮することができたため、交付対象事業費3,102千円を減額した。 ・基礎アンケート調査項目への審議委員会委員意見の反映や、事業者意見等の取りまとめに時間を要し、策定スケジュールに遅れが生じたため、11,825千円を繰越した。						
活動目標（指標）及び達成状況	R5活動目標（指標）		達成状況					
				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	現行計画の検証、観光振興に係る実態調査	目 標	実施					
		実 績	実施					
	観光振興に係る方向性・方針の検討、ロードマップ及び事業体系図の作成	目 標	作成					
		実 績	作成					
	委員会等の開催	目 標	6回					
		実 績	4回					
	第2次観光振興計画の作成	目 標	作成					
		実 績	作成					
達成状況説明	委員会に関しては、計画の策定スケジュールや、進捗状況等を鑑みて、目標回数を下回る8月、12月、年明け2月、3月の計4回という実績になった。							
成果目標（指標）及び進捗状況	R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R5年度	R6年度	R7年度	目標値（年度）	
	第2次豊見城市観光振興計画の策定完了	目 標	（ ）（ 策定完了 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		策定完了				
		目 標	（ ）（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	・事業を翌年度に繰り越してしまったが、策定を完了することができた。 ・本計画の期間は令和6年～令和12年度までの7か年としている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・施策体系は、「経済分野」「社会文化分野」「環境分野」「分野横断」の4つの基本目標から計32の施策を設定した。 ・設定した施策に対して、市役所各関係課の周知は当然のこと、市観光協会・市商工会等の関連団体への施策周知を積極的に行う必要がある。 ・近年の観光を取り巻く状況の変化の著しさを考慮する必要がある。	今後、施策推進をしていくうえで、観光関連団体等との観光を取り巻く状況の変化をはじめとした課題ヒアリング等を年に数回行う。
今後の取り組み方針		
・計画の各施策の進捗管理を行い、計画の推進を行う。その中で浮上した課題をすくい上げる。 ・近年の観光を取り巻く状況の変化の著しさを鑑み、2年に1度検証を行い、必要に応じた見直しを行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>11,824</td><td>11,824</td><td>9,459</td><td>2,365</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	11,824	11,824	9,459	2,365	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
11,824	11,824	9,459	2,365	0										
豊見城市 11,824千円 → 委託料 11,824千円 → ランドブレイン(株)沖縄事務所 11,824千円 〔 第2次豊見城市観光振興計画策定支援業務 〕														
資金使途の流れ・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者選定は公募型プロポーザルによる随意契約の為、妥当であったと考えている。 ○予算規模について、適正な規模であったと考えている。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												